

三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第3期第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)



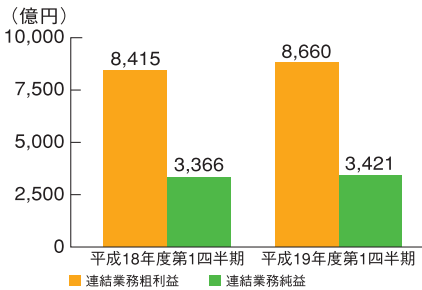
Quality for You



決算のポイント

- ➡ 連結業務粗利益・連結業務純益は前年同期比増益。一方、四半期純利益は、貸倒引当金戻入益や償却債権取立益の減少を主因に前年同期比682億円減少の1,512億円に。
- ➡ 貸出金は海外貸出の増加などにより、前年度末比1.1兆円増加の85.9兆円。
預金は、個人預金等が増加した一方、法人預金が減少し、前年度末比ほぼ横ばい。
- ➡ 預貸金利回差は引き続き改善。前年同期比0.12ポイント向上の1.43%に。

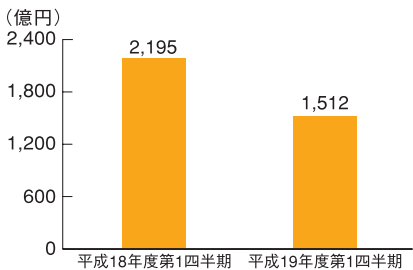
連結業務粗利益・連結業務純益



〈連結業務粗利益・連結業務純益について〉

連結業務粗利益は、投資信託関連収益やトレーディング収益の増加などにより前年同期比244億円増加の8,660億円となりました。一方、システム統合やコンプライアンス対応等により営業費が増加したことから、連結業務純益は前年同期比54億円増加の3,421億円となりました。

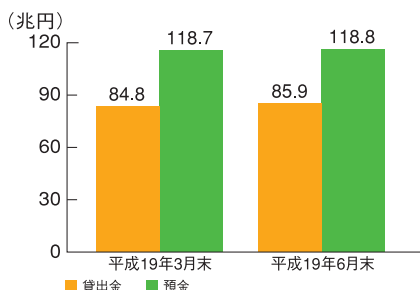
連結四半期純利益



〈連結四半期純利益について〉

与信関係費用総額が、貸倒引当金戻入益の減少を主因に前年同期比723億円増加したことや、償却債権取立益が同507億円減少したことなどにより、連結四半期純利益は、同682億円減少の1,512億円となりました。

貸出金・預金

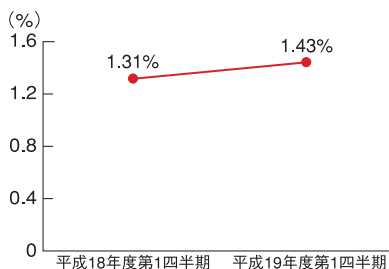


〈貸出金・預金について〉

貸出金は、海外貸出の増加を主因に、平成19年3月末比1.1兆円増加し、85.9兆円となりました。

預金は、法人預金が減少する一方、個人預金等の増加により、平成19年3月末比ほぼ横ばいの118.8兆円となりました。

預金・貸出金利回差

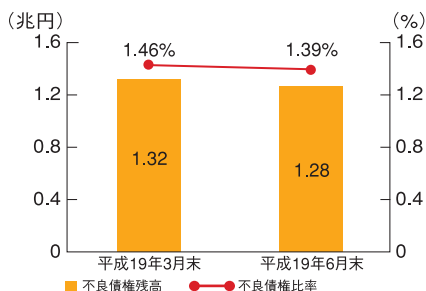


〈預金・貸出金利回差について〉

国内業務部門の貸出金利回と預金等利回の利回差（「預貸金利回差」）は、前年同期比0.12ポイント向上の1.43%となりました*。

※ 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

不良債権残高・比率



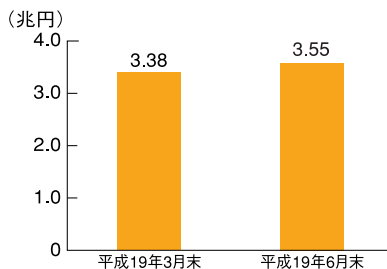
〈不良債権について〉

不良債権比率は、お取引先の業況回復に伴う債務者区分の上方遷移（格上げ）や処理の進捗などにより、1.39%となりました*。

※ 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

平成19年度第1四半期の業績について

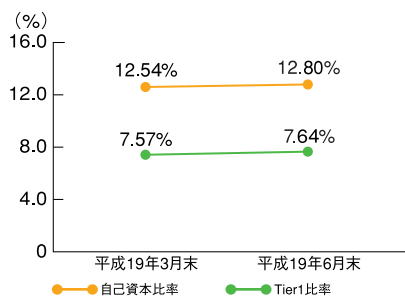
有価証券の含み損益



〈有価証券の含み損益について〉

有価証券の含み損益合計（その他有価証券評価差額）は、債券の含み損が増加したものの、株式の含み益が増加したことなどにより、平成19年3月末と比べ、0.16兆円改善し、3.55兆円の含み益超となりました。

連結自己資本比率



〈連結自己資本比率について〉

四半期純利益計上による自己資本の増加等により、連結自己資本比率は12.80%、Tier1比率は7.64%にそれぞれ上昇しました。

用語解説

① 償却債権取立益とは…

資産の自己査定を通じ、貸出金等の債権の回収可能性を定期的に見直し、将来の回収に疑義が生じた場合には、「貸出金償却」として債権額を直接減額するなど、その都度、必要な損失処理を行っています。

償却処理後において、回収可能と見積もった債権額（償却後の債権額）を上回る回収ができた場合には、その上回った額を「償却債権取立益」として特別利益に計上しています。

(単位：億円)

損益の状況（連結）	平成18年度第1四半期 (平成18年4～6月)	平成19年度第1四半期 (平成19年4～6月)
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	8,415	8,660
うち資金利益	4,707	4,657
うち役員取引等利益	2,609	2,659
営業費	5,048	5,239
連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	3,366	3,421
臨時損益(△は費用)	△149	△633
うち与信関係費用	△229	△983
うち株式等関係損益	7	417
経常利益	3,217	2,930
特別損益	714	142
うち償却債権取立益	591	84
うち貸倒引当金戻入益	112	—
法人税等十法人税等調整額	1,417	1,246
少数株主利益	319	313
四半期純利益	2,195	1,512

与信関係費用総額

(信託勘定償却十一般貸倒引当金繰入額十与信関係費用十貸倒引当金戻入益)

△117

△840

資産・負債の状況（連結）	平成19年3月末	平成19年6月末
資産の部	1,872,810	1,926,792
うち貸出金	848,319	859,377
うち有価証券	482,076	493,094
負債の部	1,767,573	1,820,540
うち預金	1,187,086	1,188,449
純資産の部	105,237	106,252

連結自己資本比率の状況（第一基準）	平成19年3月末	平成19年6月末
自己資本比率	12.54%	12.80%
Tier1比率	7.57%	7.64%
自己資本	133,444	137,077
Tier1	80,548	81,903
総所要自己資本額	85,116	85,655

リテール部門

三菱東京UFJ銀行と
東京急行電鉄との提携

三菱東京UFJ銀行と東京急行電鉄は、金融系サービスでの業務提携について基本合意しました。具体的には、現在、東急線八駅に設置している三菱東京UFJ銀行のATMを、平成十九年九月以降、新たに十五の駅に設置し、その後、順次拡大する予定です。一部のATMを除き、始発から終電までご利用可能となりますので、沿線のお客様に便利にお使いいただけるようになります。



また、平成二十一年春には、三菱東京UFJ銀行のスーパーICカードにTOKYUポイント、IC乗車券(PASSMO)の各機能を融合させ新しい提携カードを発行する予定です。

受託財産部門

企業向け年金セミナーを開催

MUFグループでは、法人のお客様を対象に、平成十九年七月にMUF企業年金セミナー「大転換時代の確定拠出年金」を東京、大阪、名古屋で開催しました。当日は、「大転換時代」をキーワードに、変容する時代の企業経営・人事・年金制度のあり方について、社内外の講師が講演。あわせて有望な選択肢となる確定拠出年金につき、投資教育の新しい手法をご紹介します。



参加されたお客様からは実例を交えたきめ細かな解説が役立つなど、ご好評をいただきました。今後もMUFグループの総合力を発揮し、タイムリーな情報発信をしていきます。

法人部門

中国現地法人が営業を開始

平成十九年七月に、三菱東京UFJ銀行の全額出資により設立した現地法人「三菱東京日聯銀行（中国）有限公司」（本店・上海市）が開業しました。同社は、三菱東京UFJ銀行から中国国内の六支店（上海・北京・天津・大連・無錫・深圳）と二出張所（天津濱海・大連経済技術開発区）を継承し、従業員千三百名、総資産一兆円規模の銀行となりました。今後も、



同社および三駐在員事務所（瀋陽・成都・広州）とともに、中国で事業を展開しているお客さまやこれから事業拡大をお考えのお客さまに、さまざまな金融サービスを提供していきます。

海外投資家向け説明会を 欧州で初めて主催

三菱UFJ証券は、平成十九年七月に、同社主催の海外投資家向け説明会「Mitsubishi UFJ Securities Japan Equity Conference 2007」を、欧州で初めてロンドンで開催しました。当日は三菱UFJフィナンシャルグループをはじめ、トヨタ自動車、三菱重工業、コニカミノルタなど十七社が事業戦略などを説明。参加された機関投資家からは「日本を代表する企業のトップの話を直接聞いて有意義だった」と高い評価を得ました。今後も、欧州・北米・アジアの各地域で投資家向け説明会を定期的に主催し、グローバルビジネスの拡大をめざしていきます。



話を直接聞いて有意義だった」と高い評価を得ました。今後も、欧州・北米・アジアの各地域で投資家向け説明会を定期的に主催し、グローバルビジネスの拡大をめざしていきます。

社会とともに



MUFGグループでは、平成十九年七月二十七日に、社会貢献活動の一環として、『子どもの就業体験プログラム「ジョブシャドウ」』を初めて実施しました。「ジョブシャドウ」とは、世界最大の経済教育NPO団体である「ジュニア・アチーブメント」が米国を中心にやってきた、中学生・高校生を対象とした教育プログラムです。中学生が、仕事をしている会社員に影（シャドウ）のように張り付いて行動し、仕事の厳しさや楽しさを体験するもので、通常の会社見学と異なり、「人がしている仕事を見るのではなく、仕事をしている人を見る」という点が特徴です。

MUFGグループ各社、「ジュニア・アチーブメント日本」および、「東京都教育委員会」の三者により準備を進め、当日は、都立高校生約百名が参加する大規模なものとなりました。各生徒は、三菱UFJファイナ



ンシャル・グループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券の東京・丸の内の各本部で、そこに勤務する従業員とペアになり、電話対応や文書作成を行う姿の観察だ

けでなく、諸会議への出席なども体験しました。

今回のジョブシャドウに参加した生徒からは、「会社案内などを読むだけでは感じることはできない、臨場

感のある体験ができ、

今後の進路を考える上で大変勉強になった」といった感想が寄せら

れました。また、ペア

となった従業員や、生徒を受け入れた職場か

らは、「生徒さんの真剣な眼差しを受け、自分



自身の仕事に対する姿勢を見つめ直す良い機会となった」との声が多く聞かれました。

MUFGグループでは、CSR活動の重点領域のひとつとして「次世代社会の担い手育成」を掲げており、当グループが社会に支えられた存在である

ることを十分認識し、今後とも、こうした社会貢献活動にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。



MUFGグループは、平成19年9月3日に放送されたテレビ番組「MUFGスペシャル 未来の子どもたちへ 地球の危機を救うお金の使い方」に協賛しました。

株主優待メニュー決定のお知らせ

平成十九年九月末を第一回基準日として、平成二十年一月四日よりスタートを予定している株主優待制度（「MUF G株主倶楽部」）の初年度の優待メニューが決定しました。

株主優待制度の概要

株主優待制度の名称

「MUF G株主倶楽部」

基準日

平成十九年九月三十日(日)を第一回基準日とし、以降、毎年九月三十日を基準日とします(年一回)。

対象株主

基準日時点の株主名簿または実質株主名簿上に記載されている、当社の普通株式を百株[※]以上保有する株主の皆さまを対象とします。

※平成十九年九月三十日付で実施する株式分割（一株を千株に分割）後の株式数です。現在の株式数では〇・一株に相当します。

サービス提供開始時期

平成二十年一月四日(金)より優待メニューの提供を開始します。事前にお申し出いただいても優待メニューはご利用いただけませんのでご注意ください。

優待サービスのご利用方法等について

優待サービスのご利用方法等の詳細情報につきましては、平成十九年十二月を以て対象株主様宛にお送りいたします。株主優待制度のご利用案内冊子をご覧ください。なお、ご利用案内冊子には、優待サービスをご利用いただく際に必要となる「株主優待クーポン券」も同封いたします。

【ご注意】

各優待サービスご利用の際の注意事項を当社ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.mufg.jp/investors/programs>

初年度優待メニュー

個人株主向け

基準日時点の保有株式数	初年度優待メニュー
100株以上500株未満	「ピーターラビット™オリジナル 小物入れ」贈呈*
500株以上 1,000株未満	下記A)～F) から、希望の1つを提供 A) 三菱東京UFJ銀行のスーパー定期1年物の金利ご優遇 (店頭表示利率+0.2%、預入300万円以下) B) 三菱UFJ信託銀行のスーパー定期2年物の金利ご優遇 (店頭表示利率+0.2%、預入100万円以上300万円以下) C) 三菱東京UFJ銀行の外貨定期預金の為替手数料ご優遇 (規定手数料を60銭優遇、USD/ユーロの2通貨、預入1万ドル/ユーロ以下) D) 三菱UFJ信託銀行の遺言信託取扱手数料割引 (規定手数料を10%割引) E) 三菱UFJ証券の国内株式等売買委託手数料割引 (1年間の支払手数料総額の10%をキャッシュバック、上限6千円) F) 「ピーターラビット™オリジナル 小物入れ」贈呈 (上記、100株以上500株未満株主向けメニューと同じ)
1,000株以上	上記A)～F) から、希望の2つを提供 (同一メニュー2つでも可)

※リサイクルレザー(革製品を製作する過程で発生する皮くずを集め、シート上に再加工した素材。環境配慮型商品として利用が広がっている)を使用した小物入れ

法人株主向け

基準日時点の保有株式数	初年度優待メニュー
100株以上500株未満	「ピーターラビット™オリジナル 小物入れ」贈呈 (上記個人株主向けメニューと同じ)
500株以上 1,000株未満	下記A)、B) から、希望の1つを提供 A) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング主催ビジネスセミナーへの無料ご招待 B) 「ピーターラビット™オリジナル 小物入れ」贈呈 (上記個人株主向けメニューと同じ)
1,000株以上	上記A)、B) から、希望の2つを提供 (同一メニュー2つでも可)

注1) 上記株式数は、平成19年9月30日付で実施する株式分割後の株式数です。

注2) 本優待サービスは株主様ご本人のみにご利用いただけます。**ご家族を含む第三者には譲渡・貸与などできませんので、ご注意ください。**

注3) 各優待メニューのお申込方法、ご利用方法などの詳細は、平成19年12月中を目処にお送りする株主優待制度のご利用案内冊子をご参照ください。

注4) 優遇内容・条件等は、金融環境の変化などによって、変更となる可能性があります。その際は当社ホームページ掲載等の方法により、あらかじめお知らせいたしますので、ご了承ください。

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
Tel:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)